

聖霊シリーズ「癒しの賜物」

1A 癒しの神

1B 新旧にある癒し

2B イエスと使徒たちの宣教

3B 現在もある癒し

2A 恵みによる賜物

1B 複数の賜物、複数の癒し

2B 神の主権的働き

1C 癒されない事例

2C 御霊の初穂

3C いろいろな働き(医療の技術、福祉)

4C さらに優れた道

3A イエスの受けられた打ち傷

1B 霊と肉の癒し

2B 聖餐における癒し

本文

コリント人への手紙第一 12 章を開いてください、私たちは御霊の賜物の学びに入っていますが、今晚は「癒しの賜物」について、見てきます。「12:9 **またある人には同じ御霊による信仰が与えられ、ある人には同一の御霊によって、いやしの賜物が与えられ、**」前回、信仰が御霊によって与えられるという、信仰の賜物について学びました。それは、癒しや奇蹟を行なうことなど、それを主がしてくださるという思いがその時に与えられ、それを実行に移すところの賜物でした。今晚は、その癒しそのものについて見ていきたいと思います。

1A 癒しの神

私たちは、癒しという時に、それ自体が神の贖いの一貫であることを知るべきでしょう。罪そのものが、一つの病です。それによって傷が付き、そしてその傷は死に至らせます。霊における傷があり、そして精神的、感情における傷があり、肉体の傷もあります。特に聖書では、今のように高度な医療技術が発達していませんから、肉体の病とは私たち以上に、死そのものを意識せざるを得ない対象でありました。そして私たち、医療技術は発達しましたが、それでもかこれでもかと言わんばかりに、様々な病が、精神的に、心理的に、また社会的に噴出しています。その中で、真の癒しを与える方が、私たちの神であり、そして主イエス・キリストです。

エレミヤ書では、罪を悔い改めないユダの民に対して、傷だらけになっていて、誰も治療する人がいないという、真の預言者がいないことへの嘆きを預言者エレミヤが言い表しています。「8:21-

22 私の民の娘の傷のために、私も傷つき、私は憂え、恐怖が、私を捕えた。乳香はギルアデにないのか。医者はそのにいないのか。それなのに、なぜ、私の民の娘の傷はいやされなかったのか。」けれども、キリストが打ち傷を受けられて、癒しを与え、その癒しは永久に続きます。「黙示 22:2 都の大通りの中央を流れていた。川の兩岸には、いのちの木があって、十二種の実がなり、毎月、実ができた。また、その木の葉は諸国の民をいやした。」ですから、これから見ていきますが、ここでの癒しは肉体の癒しのことを取り扱っていますが、それでもこの大きな神の贖いの一貫の中にあるのだということを忘れないでください。

1B 新旧にある癒し

ということで、聖書は初めから終わりまで神が癒すことを示しています。創世記 20 章 17 節に、神がアブラハムの祈りを聞かれて、アビメレクと、その妻、はしためを癒されたことが書いてあります。イスラエルが荒野の旅をしている時に、その苛酷な環境の中でご自身が癒しを行なう者であることを明かされました。「出エジプト 15:26 そして、仰せられた。「もし、あなたがあなたの神、主の声に確かに聞き従い、主が正しいと見られることを行ない、またその命令に耳を傾け、そのおきてをことごとく守るなら、わたしはエジプトに下したような病気を何一つあなたの上には下さない。わたしは主、あなたをいやす者である。」ヤハウエ・ラファ、「主は癒される」という意味です。そして、モーセの姉ミリアムは、彼をそしつたためにらい病に罹りました。しかし、モーセの執り成しで七日後に癒される約束が与えられました。らい病については、レビ記 13-14 章という長い箇所、癒されるための回復のための道筋を与えています。列王記と歴代誌には、ヒゼキヤが死の床に伏していた所、癒しを受けたところを見ます。

私たちが今週ではなく、先週の詩篇の学びで、次の御言葉を読みました。「103:3 主は、あなたのすべての咎を赦し、あなたのすべての病をいやし…」そして、新約時代の教会では、癒しのための祈りを行ない、私たちにもそうなさいと命じています。「ヤコブ 5:14-15 あなたがたのうちに病氣の人がいますか。その人は教会の長老たちを招き、主の御名によって、オリーブ油を塗って祈ってもらいなさい。信仰による祈りは、病む人を回復させます。主はその人を立たせてくださいます。また、もしその人が罪を犯していたなら、その罪は赦されます。」

2B イエスと使徒たちの宣教

イエス様ご自身が、福音宣教において病の癒しを重要な部分として行っておられました。「マタイ 4:23 イエスはガリラヤ全土を巡って、会堂で教え、御国の福音を宣べ伝え、民の中のあらゆる病氣、あらゆるわずらいを直された。」そしてイエス様は、弟子たちに人を癒す権威と力を与えられました。「ルカ 9:1-2 イエスは、十二人を呼び集めて、彼らに、すべての悪霊を追い出し、病氣を直すための、力と権威とお授けになった。それから、神の国を宣べ伝え、病氣を直すために、彼らを遣わされた。」

ですから、イエス様だけでなく弟子たちにその権威を行使するように、受け継がせたわけですが、

使徒の働きでそれを顕著に見ます。「5:12-15 また、使徒たちの手によって、多くのしるしと不思議なわざが人々の間で行なわれた。みなは一つ心になってソロモンの廊にいた。ほかの人々は、ひとりもこの交わりに加わろうとしなかったが、その人々は彼らを尊敬していた。そればかりか、主を信じる者は男も女もますますふえていった。ついに、人々は病人を大通りへ運び出し、寝台や寝床の上に寝かせ、ペテロが通りかかるときには、せめてその影でも、だれかにかかるようにするほどになった。」そして、使徒パウロによって異邦人たちにもこの働きが顕著に行われていました。パレが囚人としてローマに行く船で、遭難から救われた島においてもそうでした。「使徒 28:8 たまたまポプリオの父が、熱病と下痢とで床に着いていた。そこでパウロは、その人のもとに行き、祈ってから、彼の上に手を置いて直してやった。」

3B 現在もある癒し

したがって、神の国の宣教において、癒しが大きな部分を占めていることは紛れもない事実です。他の超自然的な賜物についても言えることですが、「これらの賜物は過渡的なものであった。」というものです。使徒が宣教の働きをしていた時は、神学校のようなものはなかったから、一時的に神が欠けを補うために与えられたのであり、そのような力の現れよりも、知性や弁証論でイエス・キリストを世に知らせれば良いのだ、というのがあります。医療技術もあるのだから、それで超自然的な癒しの代わりになっている、と言います。

しかしそれは間違っています。一つは、先進国の驕りです。神学校や教育機関、医療技術が発達しているのは、ごく一部の先進国においてのものです。自分たちの事情を聖書解釈の中に当てはめて、そのような国々にそれを言い広めるのでしょうか？「体が痛い」と言っているのに、「病院に行けばよい、薬を飲めばよい。」と答えるのがどれだけ苛酷なことか分かっていません。病院に行っても、私たちが当たり前持っている技術がそこにはないのです。もう一つは「不信仰」です。そういった意見は、聖書を六十六巻、誤りなき神の言葉であると言っている人々の中に存在しています。二千年前に正典が書き終えられたけれども、その聖書の神が今も生きているというのが、私たちの信仰です。歴史を通じての神の業を、どうして過去の遺産とするのでしょうか？聖書信仰に悖る意見であります。

そして教会史においては、癒しが初代教会からずっと行われていたことが歴史の中で明らかになっています。初代教父はもちろんのこと、近代では英国の説教者ジョン・ウェスレーにも、癒しの働きが起こっていました。したがって聖書的にも、歴史的にも、神が御国の広がりのためにこの現代にだけ、おやめになっているというのは理屈にかないません。

2A 恵みによる賜物

1B 複数の賜物、複数の癒し

ですから、神は癒すことができ、また癒してくださることを信じます。しかし、誰もが癒されるのではないことも、聖書は記しています。これまでたくさんの方が癒しを経験しました。私たちが仲良くし

ている静岡の教会には、その肉の兄弟姉妹が十人以上いますが、小さい時は病気にかかる、病院を思い出すのではなく、母また父の祈りを思い出すということを仰っていました。つまり、病院や薬よりも、祈りで癒されてきた経験の方が多いのです。私たちの教会でも、パニック障害からの癒しを経験されている方もおられます。肉体の癒しを経験された方もおられるでしょう。しかし、すべての人が癒されるというこいとはありません。

これは、「癒しの賜物」というコリント第一 12 章 9 節にある言葉を、ギリシヤ語から見ても分かることです。Χαρίσματα ἰαμάτων(カリスマタ・イアマトーン)と言いますが、カリスマというのは「恵みによって与えられた贈り物」という意味です。そして、英語で言うならばどちらも複数形になっています、「gifts of healings」ということです。いろいろな癒しの現れがあり、またその恵みによって与えられる贈り物もいろいろな形がある、という意味です。ここには文脈を見ると、御霊が御心のままに、その恵みによって与えられるという意味合いがあり、神が主権をもって与えてくださるということであることが分かります。

ですから、大事なのは、「癒しの賜物」を受けるといのは、自分を通して神が人を癒してくださる能力だけのことを話しているのではなく、直接、その癒しを受ける人々に与えられるものとしても語られている気がします。例えば、聖書のメッセージを聞いて癒しを受けたということであれば、私に癒しの賜物があるというよりも、その人が信仰を持って御言葉を聞いたので、癒しという神からの恵みの贈り物を受けた、とも言えるのです。

2B 神の主権的働き

1C 癒されない事例

ですから、「癒しの賜物を持っている人」ということができないことが分かります。これまでの学びで学んだように、その時に主がご自分の御心によって与えようと思って与えられる時に、受け取ることのできるものです。それを主張して、この人であれば癒されるのだというものではないことを知る必要があります。

もちろん、主がある人を癒しのために他の人たちよりも用いられる、ということはありません。使徒ペテロや使徒パウロを見れば、それは明らかです。けれども、パウロは、テモテに対して、胃の病気のために少量のぶどう酒を飲むように勧めました。胃の病気が治るようにパウロはテモテのために祈ったと思いますが、そうはなっていませんでした。そして、エパフロデトが死ぬほどの病気にかかったことを彼は述べています(ピリピ 2:27)。そして、トロピモが病気にかかり、旅行もできないほどになったので彼を残してきたことを話しています(2テモテ 4:20)。そしてパウロ自身、肉体に棘が与えられたことを話していますが、サタン使いがやって来て、三度も取り除いてくださるよう主に願ったことが書かれています(2コリント 12:7-8)。けれども、パウロによって多くの驚くべき癒しがありました。手ぬぐいや前掛けをはずして病人に当てると、その病気が去っていったのです(使徒 19:12)。

2C 御霊の初穂

では、ある人は癒され、他の人はそうではないのでしょうか？これは全く、神の主権にかかっています。もう一か所、なぜすべて人が癒される訳ではないのか、はっきりと分かる箇所があるので見てみましょう。「ローマ 8:22-23 私たちは、被造物全体が今に至るまで、ともにうめきともに産みの苦しみをしていることを知っています。そればかりでなく、御霊の初穂をいただいている私たち自身も、心の中でうめきながら、子にさせていただくこと、すなわち、私たちのからだの贖われることを待ち望んでいます。」

アダムが罪を犯したので病が入ってきたことを先に述べました。そして、その回復のためにキリストが来られました。しかしキリストは天に昇られ、もう一人の助け主、聖霊を遣わしてくださいました。しかし、それは「御霊の初穂」とパウロは呼んでいます。御霊による収穫、つまり完全な回復はまだ将来を待たねばならないということです。その将来とは、キリストが再臨し、この地上に神の国を建てられることです。そこで、神は病を癒され、人々が健やかな体で生きることが許されます。その時には、御霊が満ち満ちた姿で全地を覆われます。そこで病からの癒しも全体的に行われます。しかし今は、その初穂が収穫された状態なのです。したがって、霊の救いは完全に約束されているのですが、肉体の癒しは収穫の時、地上への神の国の到来を待たねばなりません。

3C いろいろな働き(医療の技術、福祉)

そして癒しの賜物を求めることは、医療技術や福祉制度を否定するものではありません。使徒の働きを記したのは、ルカですが彼は医者でした。医者が医療技術に従事することと、癒しを求めることは矛盾しません。したがって、私たちは病の中にいる人々のために祈り、かつお医者さんの技術を通して神が癒しを行なわれることも祈るのです。医者が病をいやすのではなく、癒すのは神ご自身です。病院にかかった人は、そのことを実感できるはずですが、ですから、キリスト教会史において、医療が発達しました。また福祉が発達しました。他の宗教に比べて、これは際立っています。病んでいる人、苦しんでいる人のところにまず届こうとする人は、キリスト者たちでした。今も、例えば東日本大震災の津波被害のところに残っている人々の多くが、キリスト者であり、今も続いているのです。

4C さらに優れた道

ですから、これは神の下さる恵みの贈り物であり、癒しそのものが私たちの目的ではありません。それが目的ではなく、神の愛と恵みを分かち合うことが目的だからです。コリント第一 12章の最後に、「あなたがたは、よりすぐれた賜物を熱心に求めなさい。また私は、さらにまさる道を示してあげましょう。(31 節)」とパウロは言いました。そのさらにまさる道とは、愛です。パウロは、12章で御霊の賜物について説明し、14章で賜物の用い方、特に預言と異言について話しています。その間にサウンドウィッチのようにして入っているのが、13章の愛の章です。愛がなければ、これらの賜物があっても無意味であります。

ですから、確かに今、使徒行伝にあるような、著しい癒しの働きは起こっていません。けれども、求めていきたいです。主がなされることを見てみたいです。そして、癒しを通して人々が救われるのを見てみたいです。しかし、愛が溢れていること、これがあってこそ癒しの働きです。

3A イエスの受けられた打ち傷

そして最後に、神がキリストの打ち傷によって成し遂げられたことを見ていきたいと思います。

1B 霊と肉の癒し

「イザヤ 53:5 **しかし、彼は、私たちのそむきの罪のために刺し通され、私たちの咎のために砕かれた。彼への懲らしめが私たちに平安をもたらし、彼の打ち傷によって、私たちはいやされた。**」主がイザヤによって語られた、「彼の打ち傷による、癒し」とは何を意味しているのか、クリスチャンの間で意見が分かれています。肉体の癒しを強調する人々は、ここの箇所を挙げます。そして、「そうではない、これは霊的な癒し、罪からの救いのことだ。」という人たちもいます。結論から申し上げますと、どちらもあるということです。罪によって私たちが霊において傷を受け、そしてそれが魂にも、体にも及ぶというのが、正しい見方です。

この箇所を引用している新約聖書の箇所があります。「マタイ 8:16-17 夕方になると、人々は悪霊につかれた者を大ぜい、みもとに連れて来た。そこで、イエスはみことばをもって霊どもを追い出し、また病気の人々をみなお直しになった。これは、預言者イザヤを通して言われた事が成就するためであった。「彼が私たちのわずらいを身に引き受け、私たちの病を背負った。」イエス様が、さまざまな人々を癒されたのは、このイザヤの言葉を成就させるためだということです。イエス様が、鞭打ちによって傷を受けられました。その傷によって、傷を受けている者たちが肉体において癒しを受けます。

ところで、鞭打ちについて、それが一体どのようなものであったのかを知るのには、映像では「パッション」が良いでしょう。イエス様についての映画で、パッションはカトリックの影響を受けているもので、全生涯を知るには私は「ジーザス」を勧めますが、それでも、鞭打ちの部分で監督は中心にしており、かつ史実に従っていると言えます。ローマの鞭打ちの目的は、強制的な自白でした。十字架刑にする前に、むち打ちによって確かにこの罪に値すると定めるためのものでした。囚人は柱に縛り付けられ、背中は腰から曲げられ、背中が伸ばされ、それから九本の紐をつけた鞭で打ちます。その先には、鉛やガラスのかけらがはめ込まれているので、それを引っ張ると背中が少しちぎれるのです。こうして、囚人の罪を自白させるのです。パウロは、エルサレムでこの鞭打ちの刑を受けそうになりました(使徒 22:24-29)。けれども、パウロは「ローマ市民である者を、裁判もかけずに、むち打ちにするのですか?」と言って、むち打ちを受けずに済みました。ローマ市民をむち打ちにすることは、不法だったのです。しかし、イエス様は受けられました。

そして、再びピラトの前に出てきた時のイエス様は、ハンバーガーの生肉のようにぐちゃぐちゃ

になっていました。この惨たらしい拷問に、神は意味を持たせているのです。最後の食事の時に「これは、あなたがたのために裂かれる、わたしの体です。」と言われたのは、この鞭打ちのことです。

ですから、肉体の癒しはその打ち傷を通して約束されています。けれども使徒ペテロは、罪の赦しの中でこの箇所を引用しています。「1ペテロ 2:24 そして自分から十字架の上で、私たちの罪をその身に負われました。それは、私たちが罪を離れ、義のために生きるためです。キリストの打ち傷のゆえに、あなたがたは、いやされたのです。」罪の赦しがこのようにして、打ち傷によって与えられます。ですから、そのどちらもがこのイザヤの預言によって約束されています。

2B 聖餐における癒し

私たちが聖餐にあずかるということは、この二つを期待することです。罪が赦されたこと、また犯している罪があるなら、それを真剣に悔い改めて、この方が死なれたことを思う時であります。それに伴って、肉体の癒しも期待するところでもあります。「ですから、あなたがたは、このパンを食べ、この杯を飲むたびに、主が来られるまで、主の死を告げ知らせるのです。したがって、もし、ふさわしくないままでパンを食べ、主の杯を飲む者があれば、主のからだと血に対して罪を犯すこととなります。ですから、ひとりひとりが自分を吟味して、そのうえでパンを食べ、杯を飲みなさい。みからだをわきまえないで、飲み食いするならば、その飲み食いが自分をさばくこととなります。そのために、あなたがたの中に、弱い者や病人が多くなり、死んだ者が大ぜいいます。(1コリント 11:26-30)」聖餐に正しい心で臨まなかったために、このように体が弱り、病人が多くなり、死んだ者がいます。聖餐によって、彼らの霊だけでなく、肉体も守られていたのです。ですから、私たちは罪の赦しという霊の癒しのみならず、肉の癒しを期待していく必要があります。